

平成29年度 高冷地水稻生育速報（第1報）

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況（6月1日調査）

品種名	年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色		葉齢
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	32.1 (131%)	119 (101%)	3.7 (+0.2)	32.3 (+2.0)	5.5 (+2.0)
	前年	24.2	147	3.7	31.5	5.2
	平年	24.6	118	3.5	30.3	5.3
ひとめぼれ	本年	24.8 (112%)	160 (142%)	3.6 (-0.1)	35.1 (+3.5)	5.5 (+2.0)
	前年	21.7	142	3.8	32.8	5.1
	平年	22.2	113	3.7	31.6	5.3
たかやまもち	本年	28.6 (115%)	147 (137%)	3.6 (+0.0)	33.2 (+3.3)	5.2 (-0.2)
	前年	25.4	100	3.7	29.6	5.1
	平年	24.9	106	3.6	29.9	5.4
ひだほまれ	本年	28.2 (118%)	136 (130%)	3.7 (+0.2)	33.8 (+3.9)	5.2 (-0.4)
	前年	24.5	140	3.7	31.8	5.6
	平年	23.9	105	3.5	29.9	5.6

栽培条件：移植5月17日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

平年値：過去5年間(H24年～H28年)の平均値
()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 気象概況

気温は平年より高く、特に最高気温が高く推移している。また、日照時間に恵まれた状況が続いている。育苗期間における高温の影響により、移植時の苗はやや徒長気味となった。

2) 生育概況

葉令は「ひだほまれ」が平年よりやや遅く、その他の品種についてはほぼ平年並みとなっている。草丈はいずれの品種も平年より高い。分けつは「コシヒカリ」が平年並みだが、その他の品種については平年よりも多くなっている。また、SPAD値も平年より高い状況である。

3) 病虫害等の発生状況

イネミズゾウムシの発生・食害がみられたため、5/27に防除を行った。

4) 今後の管理

「早期中干し」は生育促進、土壌中のガス抜き及びアオミドロ・藻類対策として効果がある。しかしながら、6月第2週は、低温が予測されていたため実施を延期している。